ケルセチン

MEDIENCE
抽出物シリーズ

ケルセチンとは

「ケルセチン」はタマネギの皮や蕎麦などに多く含まれるポリフェノールの一種です。
ビタミンと似た働きをすることから「ビタミンP」とも呼ばれております。
「ケルセチン」には抗酸化作用や、血液中のLDL-コレステロール（悪玉コレステロール）の除去を促すことで、動脈硬化・心筋梗塞・生活習慣病などの予防に効果が期待されております。

メディエンスのケルセチン

推奨量：ケルセチン二水和物として150mg～/日
（原料として155mg～/日）

メディエンスのケルセチンは、マメ科の植物である「エンジュ」（中国産）または「Dimorphandra mollis」（ブラジル産）から抽出した食品添加物です。それぞれ「ケルセチン二水和物」として95.0%以上含有しております。
※「ケルセチン」として約85%含有

エンジュ
（中国産）

Dimorphandra mollis
（ブラジル産）

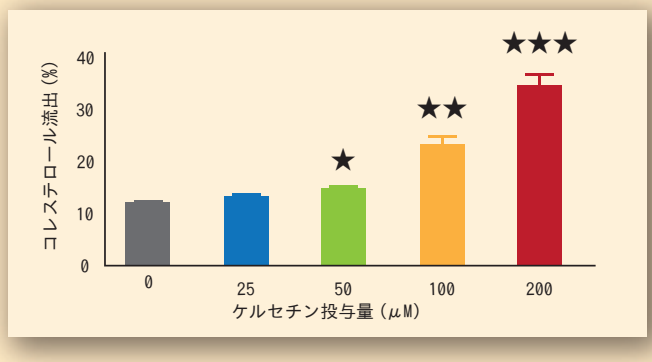
心血管症状の緩和・メタボリックシンドロームの改善効果

男性49名を2グループに分け、それぞれ8週間ケルセチン二水和物150mg/日またはプラセボを3週間摂取させた結果、ケルセチン摂取群では腹囲減少が報告されております。また、血液中のトリアシルグリセロール量が減少し、HDL-コレステロール（善玉コレステロール）の増加が報告されております。

- 動脈硬化予防
- 血流改善
- コレステロール低下
- 抗炎症作用
- アンチエイジング

LDL-コレステロール減少効果

LDL-コレステロール（悪玉コレステロール）は、血管壁に沈着することで動脈硬化などの原因となります。
ヒト細胞（THP-1細胞）とLDLを含むリポ蛋白を培養させ、ケルセチンを投与した結果、ケルセチン濃度に比例して細胞内のコレステロール流出量が増加することが確認されております。よって、ケルセチンにはLDL-コレステロールの減少効果が期待されております。



Copyright © 2021メディエンス株式会社
東京都中央区日本橋室町1-6-3 山本ビル別館7F TEL：03-3242-0014